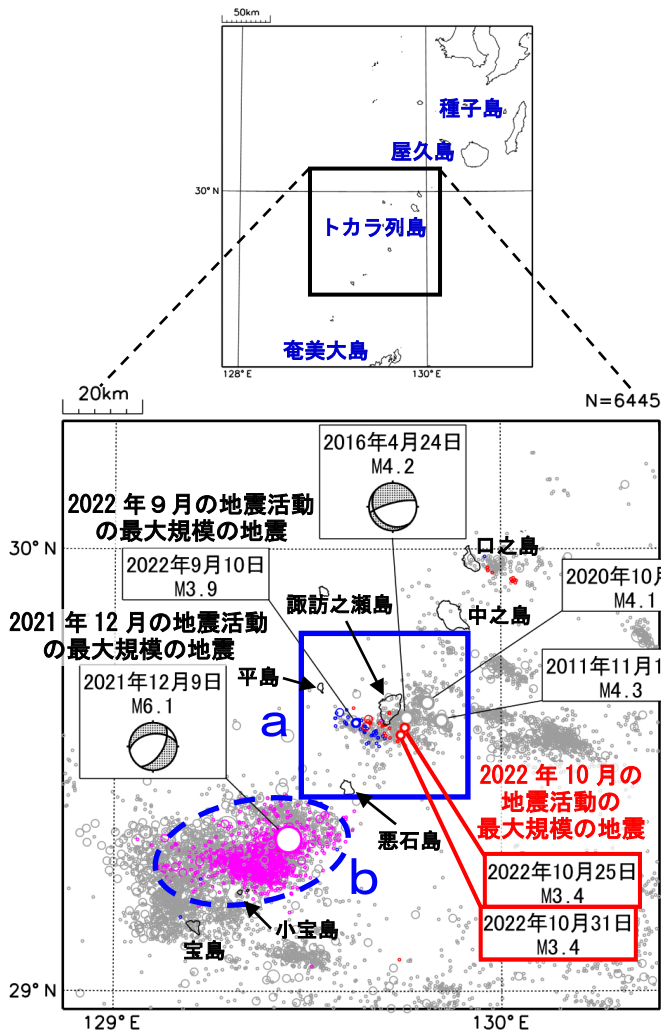
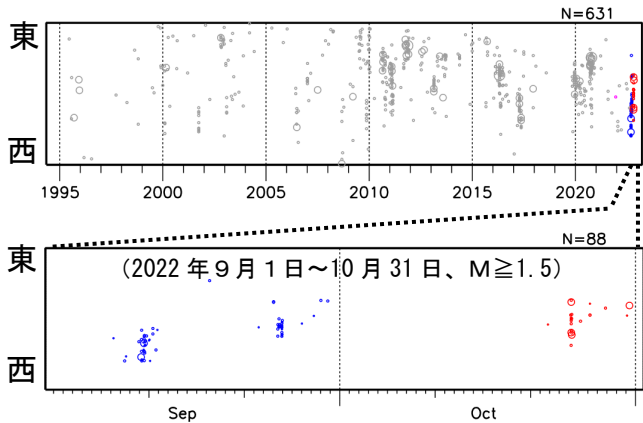


トカラ列島近海の地震活動（諏訪之瀬島付近）

震央分布図
 (1994年10月1日～2022年10月31日、
 深さ0～30km、 $M \geq 2.0$)
 2021年12月の地震を紫色○で表示
 2022年9月の地震を青色○で表示
 2022年10月の地震を赤色○で表示
 図中の発震機構はCMT解



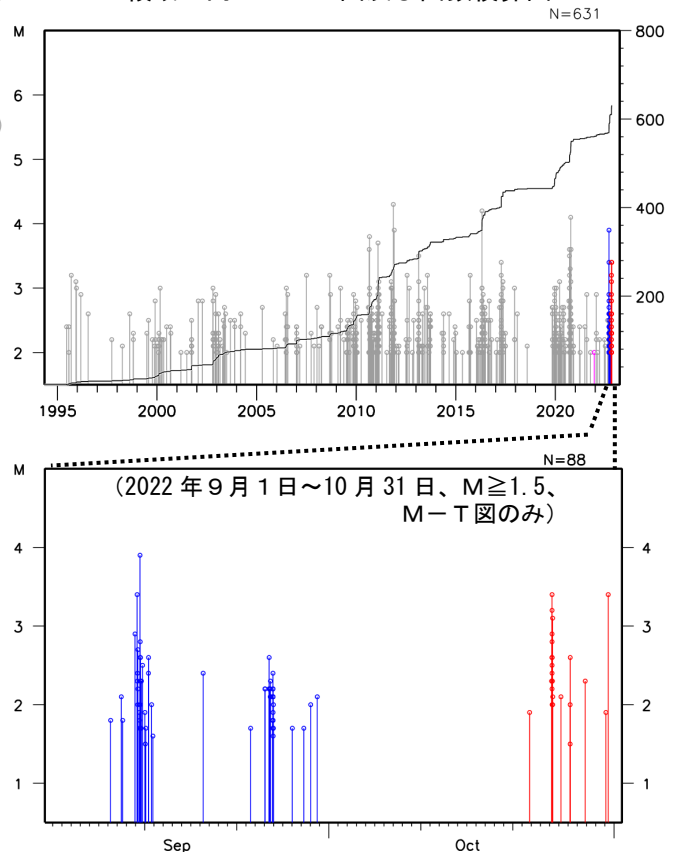
領域 a 内の時空間分布図（東西投影）



トカラ列島近海（諏訪之瀬島付近）では、2022年10月に震度1以上を観測した地震が11回（震度3：4回、震度2：2回、震度1：5回）発生した。このうち最大規模の地震は、25日06時07分と31日08時44分に発生したM3.4の地震（ともに最大震度3）である。この地震活動は陸のプレート内で発生した。また、この地震活動は諏訪之瀬島の火山活動に関係するものと考えられる。なお、9月には震度1以上を観測した地震が16回（震度3：1回、震度2：2回、震度1：13回）発生している。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震活動域付近（領域a）では、時々まとまった活動がある。直近は、2020年9月から2020年10月にかけての活動で、震度1以上を観測した地震が14回（震度3：2回、震度2：5回、震度1：7回）発生した。また、今回の地震活動域の南西の領域（領域b）では、2021年12月に地震活動が活発となり震度1以上を観測した地震が308回発生した。このうち、最大規模の地震は、2021年12月9日に発生したM6.1の地震（最大震度5強）で、鹿児島県十島村（悪石島）でがけ崩れなどの被害が生じた（被害は鹿児島県による）。

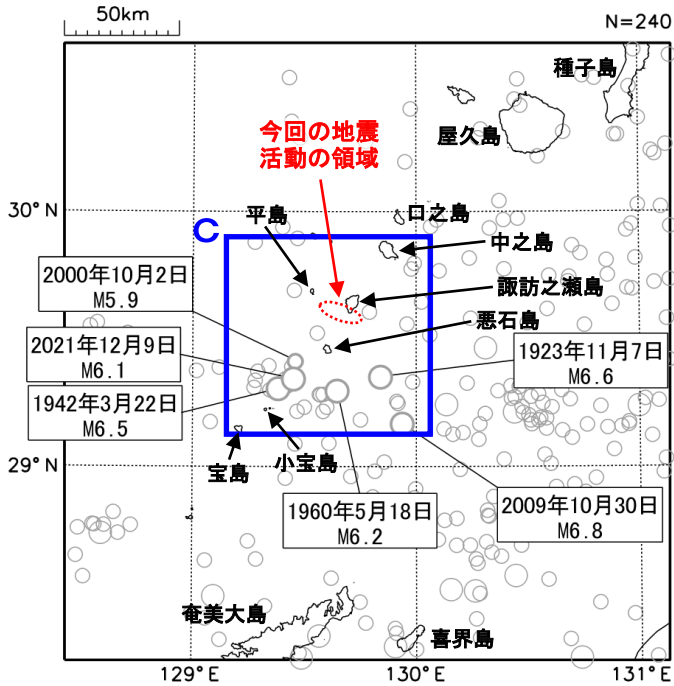
領域 a 内のM-T図及び回数積算図



震央分布図

（1919年1月1日～2022年10月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ ）

M6.0以上の地震と2000年10月2日の地震に吹き出しを付加



1919年以降の活動をみると、今回の地震活動領域周辺（領域c）では、M5.0以上の地震が時々発生している。このうち、2000年10月2日に発生したM5.9の地震（最大震度5強）では、鹿児島県十島村（悪石島）で水道管破裂などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。また、2009年10月30日に発生したM6.8の地震では、枕崎で18cm、奄美市小湊で11cmの津波を観測した。

領域c内のM-T図

